

高萩市介護サポーター意見交換会 H28.9.21 開催

参加者：10名

■意見交換会参加者の活動

- ・現在 21 名の方が登録。
- ・実施中→近隣の方へのごみ出し（回数が増えてしまう場合も）。施設内でレクリエーションの手伝い、草刈、話し相手等、農作物の収穫体験を支援。
- ・現在活動していない→他のボランティア活動はやっている。自分の特技（草刈りなど）でできることがあれば、依頼があればやるつもりでいる。
- ・自分の介護予防のため、また自分の地域もこれから高齢化が進むためそれに備える意味でも登録している。
- ・直接手伝いをしていないが、近隣に遠方まで押車で買い物に行っている高齢者がいる。制度が浸透していれば声もかけやすいが、まだまだ PR が足りていない。

■意見交換

- ・施設は人手が足りないため、ちょっとしたことでもボランティアをやってもらえると助かると聞いた。車椅子押し、洗濯物たたみなど。
→（高齢福祉課）施設がボランティアを歓迎しているのは聞いている。直接施設に連絡するのが難しければ、高齢福祉課まで一度連絡してほしい。指定施設がなくても、施設にかけ合うこともできる。
- ・施設に行くのは抵抗がある、迷惑をかけてしまうのでは、と。近所で顔と名前が一致していないと難しい。また、自分から訪問するのは難しい。今は周りが元気な人が多いが今後近隣の助け合いが必要になるかもしれない、その時のためにまずは自分自身の介護予防をしていきたい。
→（高齢福祉課）あくまで強制はしないので、自分自身でやりたいこと、やれることをやってもらえれば。
- ・事業の PR 不足が課題である。市報やチラシが配布されたのは見たが、興味ない人は見ない。サポーターが PR するのも難しいので、役所でしっかりやってもらいたい。地域の中で自然と介護サポーターの話が出るように。
→（高齢福祉課）市報、チラシ配布の他に、各種団体には説明をしているが、広く周知となると難しい。PR が課題とは感じているが行政だけでやるにも限界があるため、サポーター自らも友人・知人に声掛けしてもらえともしかすると効果はあるかもしれない。可能な限り協力をいただけると、と思っている。

→（介護サポーター）話ができる場があれば、自ら話をしてほしい。そのときは連絡してほしい。

・支援が必要な人がいれば連絡してほしい。介護サポーターの支援を必要としている人の把握はしているのか？また問い合わせはあったのか？

→（高齢福祉課）数は把握していない。除草など本人自ら、またはケアマネジャー・民生委員等から問い合わせが数件あったが、介護サポーターではなく別サービスにつながったため、介護サポーターに連絡したケースは現状ない。

→（介護サポーター）支援を必要としている人を把握しているのは、ヘルパー、ケアマネジャー等専門職である。関わっている専門職からの紹介であれば、要支援者も安心するだろうし、行政には介護サポーターとケアマネジャー等専門職とがうまく連携できるような仕組み作りをやってもらいたい。それが上手くいけば介護サポーターの数も増えていくだろう。

→（介護サポーター）今までは市役所から依頼がくるのを待っている受け身の姿勢でいたが、今回参加してみんなの活動状況を知ることができた。介護サポーターから市役所へ支援の依頼がないかを確認するようにしてほしいかもしれない。お互いの活動状況等を報告し合うために定期的に集まる機会が欲しい。

■今後実施するもの、できるもの

- ・元気アップ運動教室等へ出向き PR 実施（介護サポーター自身も）
- ・地域内での周知のため回覧板を利用（メリット・デメリットある）
- ・介護サポーターとケアマネジャー等専門職とのネットワーク作り
- ・事業 PR をすることで、介護サポーター登録者の地域差をなくす
- ・介護サポーターのフォローアップ研修の実施
- ・介護サポーターによる意見交換会の定期開催（1～2回/年程度）

■その他

- ・地域での共助意識高揚に関連して、地域で上手くいっている自治体に視察にいくとよい。例えば、群馬県南牧村・静岡県富士宮市
- ・高齢者の介護予防では、散歩もひとつ効果的だと思うが、高萩市内の道路は歩きづらいところが多い、舗装が整備されていない箇所が多いと思う。願いは散歩に特化した遊歩道の整備だが難しいと思うので、歩くことを意識して整備してもらいたい。